

# 八峰コミスク通信

令和2年度  
第3号  
R2/6/8  
CSレター  
工藤

## Dのあつちこつち見聞録

※見ていない行事もあります。ごめんなさい

新型コロナウイルスの影響で、地域の方々が行っていた様々な行事が延期、中止となつていきます。「地域とともにある学校づくり」を目指すコミュニティ・スクールとしては、一刻も早い終息を願っています。

### 〈峰浜小学校編〉

●5月12日(火)交通安全教室と自転車教室が行われました。地元の交通安全協会、警察、JA、町担当課の皆さんも集まつてにぎやかに開催していました。

●6月3日(水)5年生22名の田植え指導に、JA青年部11名が集結。頼もしくてカッコイイですね。



最新田植え機での実演後、児童は裸足で田植え体験。素足のゆるゆる感が気持ちよかつたのか、張り切りすぎて全身泥だらけになる児童も…。ドローンとドローンの共演になりました。



●6月8日(月)4年生10名が、岩子桜の里、県水産振興センター、町産業振興課の指導を受けて、水沢川に稚アユを放流しました。

『恵まれた自然環境を実感し、自然を大切にすると地域への愛着を持ってほしい』との願いが込められています。川で遊ぶことがないせいか、滑って転ぶ児童も。これも経験です。



### 〈八森小学校編〉

●5月11日(月)から、八峰町のスポーツ少年団は練習ができるようになり、少年野球やミニバスの部員たちが練習に励んでいました。

グラウンドや体育館に響く小学生たちの声はやっぱり良いですね。ただ、各大会が中止となっているので、残念で気の毒です。



●6月3日(水)八森小4年生25名が、県水産振興センター、真瀬漁協、町職員の指導のもと、アユの稚魚を真瀬川に放流しました。

県職員から「アユは一年魚。一日に食べるコケの量は体重の30%。釣りは、なわぼりの習性を利用した友釣りがある名」等と説明がりましたが、大人のみなさんは知っていましたか？



### 〈八峰中学校編〉

●5月18日(月)防災訓練後の全校集会で、読み聞かせの会代表の山本百合子さんが、自作の紙芝居を使って、日本海中部地震による大津波の惨劇を語りました。

1983年5月に起きた大災害は37年もたつたんですね。過去の出来事を語り継いでいくことは、非常に意義があることだと思います。



●5月29日(金)新型コロナウイルスの影響で、平日の午後運動会が開催されました。例年と比べ、テントはなく、来賓もおらず、観客も少なくて華やかさには欠けましたが、天気も味方につけての青空の下で、生徒たちはのびのびと競技を楽しんでいました。

クラスごとのおそろいのカラーTシャツが華やかで良いですね。観ている方も元気をもらえます。「がんばった、がんばった八峰中！」



●6月5日(金)学校を明るくしようと、八峰中学校JRC委員12名によるプランターへの花の苗植え作業。

植え方指導のため、JA青年部支部長の米森雄大さんが来校。中学校の玄関先が、華やかで明るくなりました。秋まで水やりを頑張ります！

